

漁船員の皆さんは疲労にご注意を

お盆を過ぎた北海道では、各地でさけ定置、さんま棒受け網、いか釣り等の漁業活動が最盛期を迎えるため、多くの漁船がフル稼働しますが、漁船がフル稼働すると、出港⇒操業⇒入港⇒水揚げ⇒出港・・・というサイクルを休みなく繰り返すため、漁船員の方が疲労で注意力が散漫になる、眠たくなるなど事故を起こしやすい状況になります。

昨年10月末には、帰港のため操船中の漁船船長が過度の疲労で居眠りをし、漁船は防波堤に衝突・沈没、乗組員は全員救助されたものの、船体・積荷は全損したという大きな事故も発生しています。

このような事故を防ぐために、漁船員の方は無理のない操業・十分な休養を心掛けるとともに、航海当直や各種作業を複数名で行うなど事故防止対策をとるようにしてください。



居眠りで防波堤に衝突・沈没した漁船
無理な操業が重大事故を起こす場合も

吹流しによる情報提供を試行中



吹流しの設置場所における方位

※建物等による風の吹き上がり等の影響を受けますので、この傾斜角度による風速は参考とと考えてください。

傾斜角度	風速※
45°	4m/s
59°	6m/s
75°	8m/s
80°	12m/s

第一管区海上保安本部では、海の事故防止対策の一環として、日和山灯台(小樽市)に吹流しを設置し、風向・風速を視覚的に情報提供することが有効であるかを検討しています。この吹流しの様子は、MICSサイトのライブカメラ映像でも確認することができます。

また、より多くの方に利用していただくために、順次他の地域への設置を計画しています。

なお、MICSではインターネット・ホームページなどを通じて、海の安全に関する様々な情報をリアルタイムに提供していますので、海を利用される際には、是非ご活用ください。

【日和山灯台ライブカメラのページ】

http://www6.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/otaru/hiyoriyama_it/livecamera/index.html

お問い合わせは **第一管区海上保安本部交通部**

電話 0134-27-0118 (内線2615, 2616)

MICS (スマホサイト) <http://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>



海難隻数及び海難による死者・
行方不明者数 (速報値)

7月	13隻、1人
平成27年累計	49隻、7人